

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

《パブリックコメントの意見及び市の考え方》

- 1 パブリックコメント実施期間 令和2年9月29日（火）から10月28日（水）
- 2 意見数 16名、40件
- 3 ご意見に対する市の考え方 次の表のとおり
- 4 ご意見に基づく計画案の対応 計画（案）の修正は行わないこととします。

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
1	<p>放課後児童クラブについて</p> <p>おかげさまで保育園までは安心して子供を預けて仕事を続けてきましたが、これから先小学校に進級することにとっても不安を感じています。</p> <p>利用状況について学校に問い合わせると、大抵3年生になる頃には利用しなくなる、だから定員割れしないと伺いました。</p> <p>自宅で留守番できるようになるから、とも言われましたが、その年齢で自宅で子供が1人で過ごすことにとっても不安を感じます。</p> <p>もっと児童クラブ自体が魅力的で、定員割れを心配せず、たくさんの子供が安心して利用できるようなになれば、親は心配事が減って共働きできるようになり、税金も増えると思います。</p> <p>鎌ヶ谷市の保育園はかなり充実したと思います。今後は放課後児童クラブの充実に力を入れてほしいと切に希望いたします。</p>	<p>本市の放課後児童クラブについては、1年生から6年生までの児童がご利用しております。</p> <p>利用児童数も年々増加傾向にあることから、これまで、鎌ヶ谷小学校、中部小学校、五本松小学校放課後児童クラブについては、新たな新施設を整備するとともに、西部小学校、初富小学校放課後児童クラブは、クラブ室の改修などを行い定員の拡充及び環境整備を図っております。</p> <p>今年度につきましても、道野辺小学校放課後児童クラブの改修を実施するほか、北部小学校放課後児童クラブの改修を予定しております。</p> <p>また、子ども達が楽しく利用できるように、ボール遊びなどの体験教室や季節のイベントなどを定期的実施しております。</p> <p>放課後児童クラブのご利用は、学年が上がるにつれて、減少する傾向はありますが、今後も、保護者の方が安心して、子ども達がより楽しくご利用いただけるよう放課後児童クラブの施設及び運営の充実に努めてまいります。</p>	無
2	<p>電車の利便性が高いのは分かるが、市内を通るバスが少なすぎると引越して以来ずっと感じている。駅、市役所がどうしてこうもアクセスしにくいのか。</p>	<p>鎌ヶ谷市コミュニティバス「ききょう号」は、市内の交通不便地域における幼児連れの方や高齢者等の交通手段を持たない方々が、市内に点在する公共施設等の利用促進が図れるよう市内5路線の運行をしております。</p> <p>コミュニティバスにつきましては、市民の皆様から様々なご意見、ご要望をいただいております。</p> <p>ご意見のバスによる駅、市役所へのアクセス向上につきましては、今後の運行計画策定の中で、より良い「ききょう号」のあり方を踏まえ検討してまいります。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
3	<p>道路が細い、舗装がひどい、暗い、ベビーカーも自転車もスムーズに通れる道が少ない。小学校へ通わせるのが心配。大仏駅前の交差点はいつになったら、拡がるのか、事故も多くて心配。</p>	<p>安全に利用できる道路環境の充実を目標とし、優先度を定めて計画的に幹線道路の整備や生活道路の安全対策を進めてまいります。また、定期的なパトロールや市民の皆様からの情報提供により、道路不具合箇所を適宜修繕しております。引き続き、適正な維持管理に努めてまいります。</p> <p>大仏交差点は、千葉県で交差点改良を実施しております。早期の効果発現ができるよう整備をお願いしているところです。</p>	無
4	<p>公園について、近所の公園の遊具がどんどん無くなって、行く。「ボール遊び（サッカー、野球）禁止」等、子どもがのびのび遊ぶことを阻害するような注意書きはあるが、大人がタバコを吸って捨てていくこと、ゴミを捨てていくことを止めることの方が大事だと思う。子どもはどこでボール遊びをすることが出来るのでしょうか。</p>	<p>公園の遊具につきましては、設置から長い年月が経ち、点検を行い、老朽化により危険であると判断したものや自治会や地域にお住いの方々の要望などにより、更新が必要な遊具が数多くあります。このような中、遊具の設置基準が改正され、新たに遊具を設置する場合は、今までよりも広く安全な領域が必要になることから小さな公園では更新ができなくなる場合があり、自治会などと相談の上、利用状況に合わせ遊具を撤去している公園がございます。</p> <p>また、公園でのボール遊び（サッカー、野球）につきましては、隣接している住宅にボールが侵入する恐れや、それたボールが他の利用者と接触し、怪我をしたり、他の方々が公園を利用できなくなることから、迷惑行為の防止や安全性を確保するために、公園でのボールの使用については禁止させていただいております。</p> <p>なお、市内でボールの使用ができる施設として、多目的グラウンドや学校の一般開放事業がございます。</p> <p>また、公園ではタバコの喫煙についても禁止しており、利用者の方々に快適に利用できるように引き続きマナー向上の注意喚起看板の設置や清掃作業を実施し、適正な維持管理に努めてまいります。</p> <p>次期総合基本計画においても、貴重なご意見を参考に安心してご利用できる公園の管理、整備に取り組んでまいります。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
5	<p>政策6；都市基盤一施策4「持続可能な下水道事業の推進」 ①下水道の整備 普及率 平成元年；67% 平成8年目標；74% （7%/7年！）</p> <p><所見及び開示要求></p> <p>① あまりにも低い目標である。年率1%では、単純計算で30年以上かかる。2050年でも完成せず、令和の御代でも完成しないだろうということ。信じられない遅さ。</p> <p>② 鎌ヶ谷市は現時点、周辺11市中、最低の普及率であることを開示すべきである。（ちなみに、水道普及率も最低）。野田市と最低を争っている。白井市、印西市は80%を超えている。目標の74%は現時点での千葉県全平均74.5%、全国平均79.3%にさえ及ばない普及率である</p> <p>③ そのなかでも圧倒的に遅れている江戸川左岸流域の普及率が開示されていない。普及率；印旛沼流域94%、手賀沼流域78%、に対して、江戸川左岸流域；13%（H30年末）鎌ヶ谷市南東部地区住民の多くは、この不公平を知らされずに、ひたすら待ち続けている。</p> <p>④ この鎌ヶ谷市南東部地区は、開示案文書P.32図表17に住宅密集地域として認知されている。住宅地にとって、公共下水道は必須のインフラ。この目標設定はこの地区をあたかもインフラ難民地区として放置する政策であり、当該地区住民として到底黙認できない。人権無視である。</p> <p>⑤ 今年度までの第4次実施計画での進捗遅れの反省が、全く開示されていない。</p> <p>*平成36年までに74%達成の目標が、何の釈明もなく令和8年（平成38年相当）に遅延 *毎年、工事量未達で予算返上している実態を開示していない。毎年繰越&不用費として返上 *市川幹線の遅延を理由としてきたが、全く同じ条件の船橋市丸山地区は西側から工事を進め本年前期で枝管迄完了し、現在、馬込十字路及び木下街道沿いを工事中である。鎌ヶ谷市は工事開始の告示も説明会も全く開いていない。この進捗速度の差を絶対開示すべきである</p> <p>建議1></p> <p>（1）普及率の数値目標を、今後20年以内に100%を目指すことをグランドデザインとして明示し、当面は1.5%/年の普及率向上を目指すものとする。従って、令和8年目標は78%とする。</p> <p>（2）流域別普及率を開示し、更に普及率向上目標も流域別に設定する。江戸川左岸流域は年4%の普及率向上を前提に、令和8年目標は40%とする。（20年後 13+4 x 20 = 93%）</p> <p>（3）本年度より特別会計から公共事業会計に移行したが、江戸川左岸流域は事業として離陸できていない。工事進捗には原資確保が必要であり、特別条例を制定し予算措置を行い、推進する。</p> <p>（4）船橋市丸山地区に大きく遅れていることの理由を開示すること。そして工事進捗への協力を、県及び船橋市に謙虚に要請し、費用・時間の両面で効率的に推進する。</p>	<p>（1）本市の下水道普及率は、ご指摘のとおり千葉県平均、全国平均ともに下回っており普及率を向上させるため、鋭意整備を行っているところです。</p> <p>しかしながら、本市の下水道は昭和49年度から整備を開始し、数年後には耐用年数を迎える下水道施設が生じるため、施設の維持管理についても対策が必要であります。</p> <p>普及率の目標値につきましては、近年の実績値を参考としながら、限られた予算のなかで整備と維持管理の双方の事業を推進していくことを勘案し設定したものです。</p> <p>（2）本市の下水道は印旛沼、手賀沼、江戸川左岸の3流域に分かれており、令和元年度末における各流域の普及率は印旛沼流域が約94%、手賀沼流域が約79%、江戸川左岸流域が約14%となっております。</p> <p>江戸川左岸流域は、放流先である流域下水道市川幹線の市川市内での整備に時間を要し、事業着手が平成24年度となったため、普及率が印旛沼、手賀沼流域と比較し低くなっております。</p> <p>今後も、多額の経費と時間を要しますが下流部より整備を鋭意進めてまいります。</p> <p>（3）下水道整備の促進は必要ですが、教育、福祉や道路や河川などの都市基盤整備など様々な施策を進めているなかで、下水道事業のみ特別条例を設置し事業を推進することは難しいものと考えております。</p> <p>（4）事業の進捗につきましては、限られた予算のなかで計画的に下水道の整備を実施しているところでございます。今後につきましても、流域下水道管理者である千葉県や近隣市と連携し、計画的かつ効率的に整備を進めてまいります。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
6	<p>懸案2 > 中学生アンケート調査結果に対するコミットメント無し</p> <p>添付資料編で、「中学生アンケート調査結果」が実施され、その結果が開示されているが、「第二中学校生」の回答の特徴をきちんと評価していない。</p> <p><所見></p> <p>① 「どのような街になればよいか」の設問3に「8；公園や上下水道の整備など、快適で良好な住宅地のまち」が他校を圧倒して多い。鎌ヶ谷中学校生の倍以上。ひとえに下水道の来っていない学区であり、道野辺小学校とともにマンホールトイレも作れない避難所でもある。</p> <p>② その一方で、「社会人になってからも住み続けたいか」の設問4に、「進学等で一時的に市外に出ても、また戻ってきたい」という極めて嬉しい回答がやはり1位である。</p> <p>この街に愛着を持ってこの街の将来を担って背負っていこうという第二中学校生の希望と気概に、この基本総合計画は真摯に数値目標をコミットして答えるべきである。</p> <p>③ 中学生の全市合計では、①②で取り上げた項目以外にも、「充実した子供世代を過ごせるまち」「医療・救急体制や防災体制の整備」等、極めて公共的、建設的な希望・期待が出ている。</p> <p>建議2 ></p> <p>(1) 基本目標「誰もが健康で生き生きと暮らせるまちづくり」にとって、極めて重要な若者の視点として認知・賞賛すべきである。個別説明と内容が重複して良いので、「中学生の期待に応えるまちづくり施策」の特別セッションを<政策10—施策3>の中に追加し、多様性対応の一環として彼らの指摘への対応一覧を編纂し、参画を公開し賞賛すべき。</p> <p>(2) 公共下水道の普及については、先の建議1 >の(2)での流域別普及率の開示を行い、中学生（特に第二中学校）たちのこの町への夢と愛着へ裏付けをして後押ししていく。</p>	<p>(1) 市は、市の将来を担う中学生から意見を聞くため、平成30年度に市内の中学校に通う生徒を対象にアンケートを実施し、その結果について、総合基本計画の策定に活用してまいりました。</p> <p>一例を申し上げますと、「将来の鎌ヶ谷市について、10年後にどのようなまちになればよいか」との質問では、「子どもが、楽しく充実した子ども時代を過ごせるまち」や「医療・救急体制や防災体制の整った、安心して暮らせるまち」を選択する生徒が多い結果となっております。そのため、基本計画の重点プロジェクトを選定する際には、市民ニーズとして、市民意識調査結果のほか、このアンケート結果も踏まえ、策定しております。</p> <p>このように、アンケート結果については、総合基本計画の各項目を定める際に活用し、検討していることから、ご意見のありました中学生アンケートに特化した施策の追加は考えておりません。</p> <p>(2) 市では小中学生が下水道に興味をもってもらうため、毎年、日本下水道協会・日本水道新聞社が主催している「下水道いろいろコンクール（標語、作文等）」の募集について紹介しております。また、定期的に千葉県下水道公社と協力し、下水道普及の啓発活動として小学校において「下水道教室」を開催しております。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
7	<p>政策5；環境一施策3「環境衛生の向上」 状態指標 令和元年 生活排水処理率； 81.3% 河川のBOD； 6.6ml/L 単純処理槽及び汲み取り便槽利用者； 約2万人</p> <p><所見> ここで開示されていないが、合併浄化槽であっても家庭用のBOD基準は50ppmであり、集中合併浄化槽と比較して、倍以上の汚染度である。やむを得ない地区を除けば、合併浄化槽切り替え援助にかまけず、公共下水道普及工事と、普及地域での接続促進へ邁進すべきである。</p> <p>政策6；都市基盤一施策3「治水対策の推進」 二和川バイパス工事の推進</p> <p><所見> 地区住民のこれまでのご苦勞は本当に大変でありましたが、最近の集中豪雨は前例を覆す規模のものが多く、この治水施策がどこまで耐えられるかにリスクが残ります。</p> <p>二和川のそもそもの問題は、公共下水道未整備地区を貫通する、いわばドブ川であり、その水質が極めて劣悪ということです。したがって、江戸川左岸流域の公共下水道の重要性は全く変わらないということを、流域地区住民「全員」が理解しなければなりません。</p> <p>建議3></p> <p>(1) 生活排水処理率を上げるため、工事完成地区での接続促進へ特別キャンペーンを行う (2) 市のESG活動の中核事案として下水接続促進運動を掲げ、更に、事業会収入増により未普及地区への工事支援ともなることを「強く訴え」、市民一体感の醸成へ繋げていく (3) キャンペーンには、合併浄化槽切り替え援助を最小にして、接続費用補助へ転用も検討 (4) 二和川への集中を避けるためには、現在の下水幹線工事ルートの見直しも検討する。例えば、船橋安孫子線やユニオン通りに幹線を通すことで、接続住宅数を加速できるはず。</p>	<p>(1) 下水道供用開始後の未接続世帯に対する普及促進については、市の広報やホームページにより下水道接続に対するお願いをするとともに、毎年エリアを決めて接続に対するアンケートを実施し、水洗化戸数の増加を図るべく普及活動を行っております。今後におきましても、引き続き啓発活動を実施してまいります。</p> <p>(2) 下水道使用料は、下水道事業を運営するうえで貴重な財源であるため、今後も引き続き下水道接続への啓発活動を行ってまいります。</p> <p>(3) 本市が行っている合併処理浄化槽の設置等に係る補助制度につきましては、向こう7年間に公共下水道が整備されない地区を補助対象としており、下水道工事完成地区は補助対象とならないため、ご意見にありました合併処理浄化槽への切り替え援助の最小と下水道接続費用補助への転用等の検討は現時点では必要ないものと考えております。</p> <p>(4) 下水道ルートの見直しでございますが、現在の計画は地形等様々な要因を考慮し計画を策定したものであり、この計画に沿って整備を進めてまいります。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
8	<p>鎌ヶ谷市内に、24時間対応の小児科を作って下さい。 もし無理であれば24時間とは言わずともせめて土日祝日にも時間外として見て頂ける小児科が欲しいです。</p> <p>今現在は松戸市や市川市、船橋市など近隣の市に行かねばならず不便で仕方ありません。 また今現在、鎌ヶ谷市は安心して子育て出来る環境にはないと言えます。</p>	<p>安心して子育てしていただけるよう、小児救急の24時間365日対応を内容の一つとした協定を結び、平成19年9月に鎌ヶ谷総合病院が開院いたしました。小児科医の確保が難しいことから、いまだ、実現に至っておりません。</p> <p>そのため、小児救急につきましては、同じ沖縄徳洲会の千葉西総合病院と連携を取りながら、対応いただいているところです。市としましては、今後も鎌ヶ谷総合病院に24時間365日の小児救急の実現の願いを続けてまいります。</p> <p>なお、参考サイトとして、「かまがや安心医療ナビ」「こども急病電話相談」「子どもの救急ホームページ（日本小児科学会）」等を市ホームページに掲載しており、夜間休日診療の受診の一助となるようご案内しております。</p>	無
9	<p>重点プロジェクト3 人が集い、住まう魅力あふれるまちづくり P.37</p> <p>重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実</p> <p>これに関してですが、今年2020年の2月に東中沢から今の初富本町の住所に移転し気づいたことがあります。</p> <p>土地購入の際、道路接地面から2メートルは将来鎌ヶ谷市が道路にする計画があるとの事で線が引かれておりました。</p> <p>しかしながら引っ越してから一度もそんな計画について市からの説明は何もありません。前の道路は車1台通るのがやっとで、宅配等のトラックは少し遠くに停めてドライバーさんが走ってくるような状況です。</p> <p>本当に狭いので、1日も早く、拡げるならば拡げていただきたいのです。</p> <p>せめてその道路計画は「いつまでにどんな形で実現させるものです」という具体的な説明が欲しいです。</p> <p>自宅敷地内の柵やコンクリート打ちなど、エクステリア周りの改善工事も考えていますが、せっかく直すなら道路がちゃんと整備されてからとも考えており、踏み切れずにいます。</p> <p>市内には他にも狭すぎる道が沢山そのままになっているようで、計画しただけで誰にも引き継がれず長らく放置されているようだと困るので、今回意見を提出させて頂きました。</p> <p>いま小学生の子どもが車の免許を取る頃までには、道路はちゃんと広がるのでしょうか？せめて各所の道路拡張の進捗情報を共有して欲しいです。よろしく申し上げます。</p>	<p>国道464号付近での都市計画道路の計画はございますが、国道464号からお住いの宅地までの市道3323、3331号線につきましては、道路拡幅の計画はございません。</p> <p>なお、建築基準法により、道路幅員が4メートル未満の道路に接して建築物の新築等を行う際は、道路と敷地との設置面ではなく、道路中心線から2メートル後退することとなっております。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
10	<p>新鎌ヶ谷駅付近は歩道など綺麗な印象はありますが、私の住んでいる道野辺エリアの歩道はガタガタ道が多く、また狭い歩道が多く、ベビーカーでの移動など難しい場所がある。</p> <p>また、通学路になっている道も、車の通りが多いように感じます。</p> <p>もう既に家が建っていたり、道路の整備は難しいかとは思いますが、そこが気になります。危険な道が多いのかなと、感じます。</p> <p>また、個人的に野田線高架下を歩道にしてくれると嬉しいです（市民農園の所まで）。</p> <p>鎌ヶ谷は、東京にも近いし、自然も豊かで場所がいいと思うのに、住んでみると、何となく全てにおいて古さ（劣化も）感じられ、魅力に欠ける部分があるように思います。</p> <p>子育て世代の私が住んで感じたのは、道路の整備、安全な通学路の整備、をまずやって欲しいです。よろしくお願いします。</p>	<p>安全に利用できる道路環境の充実を目標とし、優先度を定めて計画的に幹線道路の整備や生活道路の安全対策を進めてまいります。</p> <p>また、通学路における安全対策については、道路管理者と連携して実施してまいります。</p>	無
11	<p>鎌ヶ谷に移り住んで11年目になります。</p> <p>結婚、出産をして5人の子どもに恵まれました。北初富が変わり交通もとても便利になり、子どもにも安心して電車を利用させることができる土地になり、とてもうれしいです。</p> <p>生活の中で1番強く希望すること</p> <p>1.多子世帯への保育園入園しやすさ (子どもが多く、食費がかかる為、共働きしないとイケません) (幼稚園は入園金高く、行事もとても負担)</p>	<p>保育園への入園にあたりましては、保育の必要性の度合いを数値化し、保育の必要性の高い方から入園を決めています。また、保育園等に入園していない未就学児が2人以上同時に申し込む場合に加点することで、多子世帯が入園しやすくなるよう配慮しています。</p> <p>さらに、入園を希望する保育園等に兄弟姉妹が在園している場合や兄弟姉妹が別々の保育園等に在園しており、どちらか一方が在園する保育園等への転園を申し込む場合についても加点するなど、兄弟姉妹の入園・転園について様々な配慮をしています。</p>	無
12	<p>2. 5人いるので、オムツあるいはお米代のクーポン希望</p> <p>小さい子どもにはオムツが必要です。安くないし、2人分は家計を苦しめています。1か月30kgは必要なお米代も安くないです。高所得ではないので、とても苦しいです。</p>	<p>国公立の小・中学校へ就学している児童や保育園、幼稚園に通園している児童で、学校教育に必要な学用品の購入や給食等の費用について、一部を市が援助する制度や地域の子供達や保護者などを対象に食事を提供する子ども食堂などをご案内できますので、こども総合相談室までご相談ください。</p> <p>なお、今後、オムツあるいはお米代のクーポン券の発行する予定はございません。</p>	無
13	<p>3.世帯主が外国人への補助</p> <p>家庭をもち、仕事も休みなしで働いています（日本語読み書き勉強する時間もない）。</p> <p>税金も日本国民と同じく納めています。ただ、読み書きが出来ない為、希望する仕事に付けないため、苦勞する日々が続いています。</p> <p>※ 金銭面の補助、子ども1人につき、いくらなど（子ども手当以外）</p> <p>※ 世帯主が外国人の多子世帯（共働き多い）</p> <p>※ 3・4人以上 保育園入園しやすい権利</p>	<p>市は、「多文化共生社会の構築」として、日本人も外国人も、お互いの風土、文化等を理解し、地域の中で安心して安全に暮らせる環境を構築することを総合基本計画の施策の柱に掲げております。</p> <p>そのため、外国人に特化した支援はありませんが、経済的な負担軽減や各種福祉サービスは、日本人も外国人も同様に受けることが可能となります。</p> <p>また、外国人の方が、相談窓口に来庁する際には、多言語翻訳機器を設置するなどし、外国人住民への支援を推進しております。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
14	<p>4.待機児童なしゼロ</p> <p>子育てにはお金がかかります。未来、将来、有望なスポーツ選手になるであろう子どものスポーツをやらせています。</p> <p>収入を増やすために、共働きをしたいです。その為、預け先がないと困ります。</p>	<p>保育施設の整備については、保育ニーズを的確に把握し、これまで民間保育所及び小規模保育事業所の整備を進めてきたことで、平成27年度より年度当初における国基準での待機児童ゼロを6年連続で達成しています。</p> <p>しかしながら、年度途中では待機児童が発生しており、国基準以外も含めると令和元年度末では200名を超える待機児童がいることから、保育需要等を踏まえ現在、令和4年4月開設予定の90名定員の民間保育所整備を進めており、年度を通しての待機児童ゼロを目指しているところです。</p>	無
15	<p>現在、地震と同じ位に水害に対する心配も大きくなってきました。</p> <p>鎌ヶ谷は海に隣接せず、大きな川がないので安心してしまっているところも多いので、気を付けるべきところが曖昧なところが（自分にとって）心配です。</p> <p>それも含めて対策をお願いしたいです。</p> <p>また、防災無線は、大雨などや子どもが家にいると全く聞こえません。安心メールも登録しますが、高齢の方も含めて、インターネット等、現在利用すべきものを使って、誰もが簡単に利用できるシステムをお願いしたいです（避難情報など）。</p>	<p>(1) 水害について</p> <p>ご意見にもありますとおり本市は海や大きな河川はございませんが、台風等により家屋の浸水害などが発生することがございます。</p> <p>市は、洪水ハザードマップにより水害の危険性がある場所をお知らせするほか、その裏面には「避難時の心得」などの情報を掲載して皆さまに水害に関する注意喚起を行っております。また、自主防災組織の訓練の場や各種防災情報を掲載した「防災ハンドブック」の配布等、あらゆる機会をとおして皆さまに災害への備えについての知識を普及啓発しております。</p> <p>さらに、かまがや安心eメール（防災情報）により、気象警報や災害に関する情報を24時間365日体制で皆さまの携帯電話等にお送りしておりますので、ぜひご登録をお願いいたします。</p> <p>(2) 防災行政無線について</p> <p>防災行政無線での放送は、天候や風向き、近隣に高い建物があるなどの環境により、聞こえにくい場合がございます。</p> <p>放送が聞こえなかった方への対応として、防災行政無線の内容を無料でお聞きいただける「防災テレホンサービス（0800-800-2760）」や放送した同じ内容を「かまがや安心eメール」（防災情報・防犯情報）」で配信しております。</p> <p>また、避難情報などは、市ホームページのトップページ「緊急情報」欄に掲載することとしている他、総務省の「Lアラート」というシステムを介してテレビのデータ放送等で確認することができます。</p> <p>今後も有効な伝達手段を調査・研究してまいります。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
16	<p>住んでみて、児童センターのつどいの広場の充実、他の市に負けず、自慢できるサービスだと思います、もっとパワーアップして欲しいと思います。</p> <p>また、“ママ友”に抵抗があってセンター等に行きにくいけど、家に長くいることに疲れてしまっている方のために、何かできると良いのかと思います（サービス利用をためらっている方）。</p>	<p>つどいの広場の充実につきましては、利用者などを対象としたアンケート調査を実施するなど、ニーズの把握に努め、事業内容の検証をするほか、職員の資質向上を図り、きめ細やかな相談体制を図るため、各種研修など積極的に参加してまいります。</p> <p>また、利用しやすい児童センターに向けて、広報や子育て応援サイトなどを活用し積極的にPRを図るほか、児童センターを利用することが難しいご家庭に対しては、関係機関と連携を図り、支援をするとともに、今後、インターネットを活用したオンラインでのコミュニケーションツールの導入などについても、利用者のニーズなどを踏まえ、調査研究してまいります。</p>	無
17	<p>登校の見守り隊の方には感謝でいっぱいです。ただ、下校は1人になることもあり、四六時中親が見守れないのも悩みです。防犯の強化は特にお願いしたいです（大人の性犯罪は近年悪化しているの・・・）。</p>	<p>平日の下校時間を対象に行っている児童生徒安全パトロールを引き続き実施し、安全な通学路の確保を行ってまいります。また、青少年センターでは街頭補導活動を行っており、特に不審者情報を受けた際には重点的なパトロールを実施するとともに、「子ども安全メール」を送信して注意喚起を促しています。さらに「こども110番の家」の活用など、児童生徒の見守り活動を強化してまいります。</p>	無
18	<p>鎌ヶ谷は緑が多い街なのに魅力的な公園が多くないのが残念です。アンデルセン公園や白井市の公園に行く機会が多いのが正直なところ。他市に負けない面白い公園が欲しいです（車が止めやすい。トイレが綺麗など）。</p>	<p>本市においては魅力的な公園のひとつであります市制記念公園では蒸気機関車や飛行機の展示のほか児童用電気自動車や大型の遊具などもございます。春には桜の名所として多くの方が来園し、多くの方々にご利用いただき、利便性を向上させるため、昨年度、駐車場の舗装やトイレ1箇所について更新を行い、ユニバーサルデザインに変更したところです。今後も多くの方々に快適にご利用いただけるよう利用される市民の皆様のご意見を伺いながら公園の整備や施設の改修を行い、また来園したいと思えるような魅力ある公園を目指してまいります。</p>	無
19	<p>近年発達障害が身近になってきました。悩んでいるママも多く聞きます。</p> <p>相談も今以上にしやすいサービスの設置や入りやすい部屋の環境作りをしてほしいです（暗い部屋のイメージがあるので）（コンパクトシティの利点を生かして、情報共有しやすくするなど）</p>	<p>育児の不安やこどもの発達に関する事など、子育て家庭全般に関する相談については、こども総合相談室、こども発達センター、子育て支援センター、健康増進課など、さまざまな身近な場所で相談を受けております。相談内容に応じて、専門機関等の相談支援が必要と判断した場合、その機関へつなぐ等市民の皆様が安心して子育てできる体制づくりに努めております。</p> <p>今後も、子育て家庭の方が、相談しやすい環境整備を図るとともに、関係機関との連携を図り、きめ細かな相談体制の整備に努めてまいります。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正有無
20	<p>取り組みの重点化は現状を踏まえた優先順位として理に適っている。</p> <p>プロジェクト3 人が集い、住まう魅力あふれるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただ掲げるだけで共有できるために、というものに対して、具体的なものが見えてこない。人々の理解を深めることのないままに整備を計画的に進める必要性をといても旧来と同じく滞ることは目に見えている。 	<p>総合基本計画では、本市の目指す将来の姿（都市像）を実現するため、基本構想で定める5つの基本目標を踏まえ、各分野において重点的かつ優先的に、また横断的に取り組むものとして、3つの重点プロジェクトを設定し、重点施策及びこれに付随した主要な事業を掲げております。</p> <p>これら主要な事業を達成するための具体的な取り組みについては、現在策定中の第1次実施計画において、優先的に取り組む事務事業を選定するとともに、各年度の主な取り組みを明記し、実施してまいります。</p>	無
21	<p>政策6 都市基盤</p> <p>施策6 魅力ある都市機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状と課題における「課題」を後期に持ち越さないように、協議や見直しを行い、キッチリと展望を示せるところまで掲げる手段で推移させていただきたい。 <p>市民、事業者、行政など各主体が相互に連携及び協力する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧来以上に掲げる文言に適う情報共有を図ってもらいたい。策定するというのは大切なことであっても、情報共有が十二分に図られていないようなことが多々あるので、策定という事実だけに囚われないようにしてもらいたい。行政の「やった」という自己満足やパフォーマンスに終わらないように。 	<p>「施策6 魅力ある都市機能の充実」を達成するべく、以下の3つの施策の推進に努めてまいります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①緑あふれる快適な魅力あるまちづくり ②にぎわいと活力ある市街地の整備 ③公共交通体系の充実 <p>都市計画マスタープランの策定に際しましては、市民の方々などのご意見が反映できるようアンケート調査、オープンハウス、パブリックコメントの実施や開催の取り組みを行ってまいります。</p>	無
22	<p>政策7 産業</p> <p>施策2 商工業の振興及び観光施策の充実</p> <p>企業誘致の推進と雇用環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税収の確保に努めることは最もなことながら、既存の企業活動とのバランスに配慮したものであっていただきたい。 	<p>企業誘致につきましては、ハード面のインフラ整備とともに、ソフト面の鎌ヶ谷市企業誘致促進条例に掲げた進出企業への支援制度や、企業の立地ニーズと土地建物所有者の不動産情報を繋ぐマッチングシステム等に取り組むことで、人口増ひいては税収増に繋げてまいります。</p> <p>なお、鎌ヶ谷市企業誘致促進条例の特徴の一つとして、新設企業への支援だけではなく、頑張る市内企業を応援するため、市内再投資企業に対しての助成制度も設けており、既存の企業活動とのバランスにも配慮した取り組みを推進しているところです。</p>	無
23	<p>政策9 市民協働・男女共同参画・多文化共生</p> <p>施策1 協働及び市民公営き活動などの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働の言葉を都合よく用いないでいただきたい。これまでの取り組みをもっと踏まえて文言以上に響く姿勢を導いていただきたい。 	<p>本計画内では「協働」という言葉の意味を、「複数の主体が、何らかの公益的な目的を共有し、その目的を達成するためにともに力を合わせて活動すること」として用いています。</p> <p>これまでの取り組みを踏まえながら、市民、事業者、行政などの各主体間での協働の推進に努めてまいります。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正有無
24	<p>政策10 持続可能な行財政運営 施策1 財政の健全化及び行財政改革の推進 ①財政規律の堅持及び自主財政の確保 ・掲げる指標を提示している手段を用いて絶対遵守したい。</p>	<p>持続可能な行財政運営を推進するため、成果指標である財政健全化判断比率（①実質公債費比率（目標値10.0%未満）、②将来負担比率（目標値72.5%未満））や市税徴収率（目標値97.2%）の目標値達成に向け、経常的な収入増及び支出の抑制、基金残高の確保、交付税措置のある有利な地方債の活用、効果的な滞納処分の推進などに取り組んでまいります。</p>	無
25	<p>政策10 持続可能な行財政運営 施策3 行政情報などの積極的な発信 ①情報発信の充実、②市の魅力発信の推進について ・情報発信はいずれも一方通行にならないように受信に最大限の配慮を願いたい。 現況から鑑みるとそういうものを踏まえた展望を抱いているとは思えない。同時に発信をされた一つの事象に対して、最後の最後までしっかりと責任を持って、情報提供に努めていただきたい。</p>	<p>市民の皆様からのご意見等につきましては、各種事業等を実施している各担当課において様々な機会を通じてお聴きしており、また、お気軽にご利用いただける広聴制度として、電子メールでお受けする「市政へのご意見」なども実施しております。市民の皆様から頂いたご意見・ご要望について、今後とも市政へのさらなる反映に努めてまいります。 情報提供につきましては、市民の皆様には正確な情報を分かりやすく迅速にお届けするために、市広報紙・市ホームページ等を活用した情報発信の強化に努めてまいります。 また、市の魅力発信の推進につきましては、様々な機会を通じて、積極的に情報発信することにより、市の知名度向上を図ってまいります。 そのためにも、特に若者や子育て世代をターゲットに、市の魅力を発信する仕組みや運営方法などマネジメントについて、民間企業の知識や経験などの活用を検討し、積極的な情報発信を進めてまいります。</p>	無
26	<p>バスケットボールができる環境が欲しい。 理由 家の前でボールをつくると、凄くボールが響いて近所の方々に迷惑がかかってしまうから、迷惑をかけないようにするための環境が欲しいです。 その環境が出来たら、周りに迷惑がかからないように出来るから。 あと、練習が限られているから、その中で技術を高めるのが難しいこそ、自主練が大切になるから、出来る環境が欲しい。 最後にクラブチームでやっているチームは、ボランティアなどでやっている方もいるから、バスケットが出来るところを作って欲しいです。 そういう環境が少しでも広がれば、バスケットを気軽に出来るきっかけが出来るし、身近な存在になるし、バスケット人口が多くなると思うからです。</p>	<p>周囲への迷惑を気遣うことができること、バスケットボールが好きで、練習をたくさんして上手になりたいという、一生懸命で真剣に取り組んでいる姿が目に見えます。 現在、市でバスケットボールができる場所は福太郎アリーナのみです。新たな施設設置は多大な費用と長い時間がかかり、すぐに願いをかなえることはできません。 プレーできる場所が少なく、熱心に取り組もうとする気持ちに答えられずに申し訳なく思いますが、これからも体調やケガには十分に気を付けて、バスケットボールを続けていってほしいと願っています。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
27	<p>① 北千葉道路計画</p> <p>昨年7月北千葉説明会にて 道路計画図面見て以来 鎌ヶ谷市都市計画に関心を持ち始めました。</p> <p>栗野に住み30年になります。北部地区から 新鎌ヶ谷の駅、商業施設に自転車や徒歩で向かう方々年々増加しています。</p> <p>北千葉道路計画詳細図は 希望者のみの閲覧で 1年間説明不足のままで計画案とされました。</p> <p>北千葉道路計画図面には 長年利用している船取線が遮断され 迂回路が計画されています。北部住民には 不自由不利益をもたらし、反発をもたらし始めています。</p> <p>新鎌ヶ谷商業施設の地権者の多くは 街作り協力した地元農家です。</p> <p>新鎌ヶ谷市民は 商業地域の 陰りも心配しています。</p> <p>市の中心幹線道路が 北部で迂回路利用となると 市内交通は住宅街に進入し、混乱するでしょう。都市計画道路が 全て開通するまで 市民生活を脅かします。</p> <p>船橋我孫子バイパスにも 稲荷前交差点付近、まちかど美術館付近、問題点多くあります。南北幹線は 2本活用すべきです。</p> <p>また 巨大な高架道路は 西部小学校学区も分断します。</p> <p>子育て世代が 北初富エリアに 転入したくない要因になります。</p> <p>58回都市計画審議会で 採決されなかった 西の新京成電鉄車庫から 東の北総線交差部までの4キロ弱を 地下化に変更する事で 自然破壊のリスク軽減し、沢山の市民の理解、協力が得られるようになります。</p> <p>北千葉道路の早期開通には 地権者の協力が必須です。</p> <p>新鎌ヶ谷西エリアの新しい街づくりに 北千葉道路計画がコラボして 緑豊かな優良住宅街と若者たちの農業が共存する未来都市開発をお願い致します。</p> <p>災害の少ない 首都圏に近い 貴重な土壌を残す地域を大切に活かす計画をお願い致します。物流センター、物置や資材置場しか描けない道路計画は 期待してきた市民の 落胆、反発しかありません。</p>	<p>北千葉道路は来年度の事業化に向け、千葉県において市川市の外かく環状道路から船橋市の国道16号間の約15kmについて、平成30年1月から環境アセスメントの手続きが開始され、令和2年2月に都市計画の変更案が縦覧され、沿線市は都市計画の変更に関する意見を公聴会等の意見を踏まえ、県に回答しているところです。</p> <p>本市における北千葉道路の整備は、市内にインターチェンジが設置され都心や成田空港へのアクセスが強化され、飛躍的に利便性が向上し、地域の活性化等、本市のまちづくりに大きく寄与することが期待されます。</p> <p>沿道利用の事例といたしましては、千葉ニュータウンとして大規模な開発ではありますが、印西市では沿道に様々な商業施設が立地されています。</p> <p>こうしたことから、千葉県の都市計画区域マスタープランなどと整合を図り、北千葉道路の効果を最大限に発揮できるようなまちづくりとなるよう、本市の総合基本計画の策定に取り組んでいるところです。</p> <p>北千葉道路の事業化後は、事業が進展していくなかで、市民の皆様が使いやすい道路としていただくよう国や県に引き続き要望していくことや、市民の皆様には事業についてご理解いただくよう丁寧に説明をすることが必要不可欠だと考えています。また、併せて市内の交通渋滞の緩和は早急に対応しなければならない課題でありますので、国直轄による早期事業化、早期完成を引き続き要望してまいります。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正有無
28	<p>② 栗野十字路</p> <p>近年甚だしく 交通量が増し 非常に危険です。 歩道でない西側を ベビーカーや電動車いすが 自転車、人と行きかう場面を見かけます。 栗野十字路周辺の人身事故は 東西南北の交通マヒを招きます。緊急車両も動けない状態で見通しのつかない船橋我孫子バイパス、北千葉道路開通を 待つことは 出来ません。この交差点の改善をお願い致します。</p> <p>2018年既に 要望書提出済みですが 2本の船取線合流地点 既に県所有になっております東側の土地から 西側に押しボタン信号付き横断歩道を検討願います。 この場所は 将来横断歩道が計画されてます。 横断歩道で 車両の流れが止められる事で 十字路の右折車両が流れやすくなります。 右折車両による南北からの渋滞を 現在既に手前の押しボタン信号が時にコントロールしてま す。 慢性的に渋滞して、改善策を打てない、右折レーンの計画が無い十字路のまま放置しないで下 さい。県に対して 強く改善を要求願います。</p>	<p>栗野十字路の改良につきましては、道路を管理する千葉県に対して要望を行い、道路が安全に利用できるよう連携を図ってまいります。</p>	無
29	<p>③ Withコロナ時代の鎌ヶ谷市の魅力</p> <p>近年 働き盛り、子育て世代は 移住、ワーケーションに反応しています。 首都圏と成田空港の中間にあり 災害に強い鎌ヶ谷市を 優良住宅街、家庭菜園付き住宅街、近県含め安全な農産物直売所の街と イメージングして頂きたいです。 鎌ヶ谷市の北千葉道路計画を 地下化すると 新しい街が描けます。 大きなチャンスと思えます</p>	<p>本市は、自然と調和した住みよい住宅都市として、まちづくりを進め、「交通アクセスの良さ」「緑豊かな自然」「子育てしやすい街」「教育環境が充実している」などの特徴を有しているものと考えており、市の魅力として、積極的PRを図ってまいります。</p> <p>また、子育て世代の流入を図るため、待機児童ゼロの継続や妊娠、出産、子育て期の家庭に対する施策の重点化を図るとともに、安全で安心な教育環境の確保、特色ある学校づくりなどを推進することで、子育て世代が「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりを推進してまいります。</p>	無
30	<p>施策</p> <p>危機管理体制 防災対策の強化のところでは気になっているのですが、昨今の巨大地震に備えなければいけないと思いますが、鎌ヶ谷市内の各小学校や幼稚園、保育園の建物の耐震設備はどうなっているのでしょうか もし、不十分ならば市の予算で強化して貰いたいです。</p>	<p>市内の幼稚園は民間建築物であるため、耐震性能を把握しておりませんが、市が保有する小学校、保育園は耐震改修済みとなっております。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正有無
31	<p>「未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり」 公立幼稚園の設立を希望します。</p> <p>低所得者や一人親世帯など、私立幼稚園への入園が厳しい世帯もあります。現状では、入園するかしないかの二択しかなく、"子どもの豊かな教育"を考えると、入園を断念せざるを得ない世帯にはとても酷な環境といえます。また、"保育サービス等の充実"にも達していないと考えます。</p> <p>以前鎌ヶ谷市のホームページにて、同意見へのご回答を拝見いたしました。市立幼稚園未設立の理由として「幼児数に対して施設が不足していない」とのことでしたが、足りているかどうかではなく、選択をさせて欲しいのです。</p> <p>補助金等々でご支援頂いてきているので、とても助かっており大変感謝しております。ですが、後からお金が戻ってくるのでは遅く、「今、払う分がない」ので諦めざるを得ない世帯があるのも事実です。</p> <p>場所や費用、周辺住民の理解等、困難が多いことは重々承知の上ですが、ご検討頂きたいと思えます。</p>	<p>現在、市内には民間幼稚園が9園あります。ご要望は「低所得者や一人親世帯など、私立幼稚園への入園が厳しい世帯」に対して公立幼稚園の設立をとのことでした。</p> <p>負担となる保育料につきましては、令和元年10月より月額25,700円を上限として無償となっており、また副食費につきましては償還払いとなりますものの、所得の低い世帯等に対して助成事業を実施しています。</p> <p>このように経済的理由等により幼稚園の利用を躊躇されている方にも安心して私立幼稚園をご利用いただけるよう、引き続き受益者負担を助成する事業を実施していくことで、子育て世帯を支援してまいります。</p>	無
32	<p>「人が集い、住まう魅力あふれるまちづくり」 公園の環境について改善を希望します。</p> <p>例として、北中沢三丁目児童遊園をあげます。</p> <p>こちらは遊具の他に平地の広場がありますが、ボール遊びと自転車の進入が禁止されています。</p> <p>周辺の公園は狭く、遊具も各地少数ずつというところが多い中、広場は貴重なものになります。ボール遊びや自転車の練習など、子どもの身体発達に必要な運動をするには欠かせない広場で、それらが禁止されているため、近所の子ども達は道路や駐車場で遊んでいます。</p> <p>ボールによる道路への飛び出しの危険に対しては、上記の場所ではフェンスで囲って対策頂いてますし、現状の"道路で遊ぶ"行為の方がはるかに危険です。</p> <p>市の方から、度々代替え案として東中沢四丁目ふれあいの森公園を勧めて頂きます。自然に触れるにはとてもよい公園ですが、大きな木の根で地面の凹凸が多く、自転車の練習には不向きです。</p> <p>貝柄山公園も、自然豊かで広大なのでよい公園ですが、何度行っても驚くほど不衛生なので、あまり使用したいという気になれないのです。</p> <p>鎌ヶ谷市に引っ越してくる際、地図上では各所に公園も多く、子育てによいと思っておりましたが、実際には公園に人はほとんどおらず、車通りの少ない道路や駐車場にこどもの姿を多く見かけ、大変驚きました。</p> <p>折角よい公園がたくさんあるのですから、こども達がしかるべき場所で安全に遊べるよう、ルールの見直しや清掃等、改善して頂きたいです。</p>	<p>公園は、小さなお子様からお年寄りまでの幅広い年齢の方々が利用しており、遊びの場、憩いの場、自然とのふれあいの場、レクリエーションの場などの多くの役割を持った施設でございます。子供たちが遊びを通して心身の発達や、自主性、創造性及び体力増進を図る上での役割は重要であると認識しておりますが、近隣住宅にボールが侵入する恐れや、それたボールや自転車利用者が他の利用者と接触し、怪我をしたりする可能性があり、他の利用者への迷惑行為の防止や安全で楽しい遊び場を確保するために、公園でのボールの使用や自転車の乗り入れについては禁止としております。</p> <p>また、ふれあいの森は地域の貴重な緑地として、地域の皆様が緑を身近に触れていただくため、民地を借地してやすらぎとうるおいのある森林レクリエーション及び保健休養の場として皆様に開放している施設でございます。</p> <p>今後も多くの方々に快適にご利用いただけるよう公園の清掃、管理を行い、不衛生であるとのことご意見を真摯に受け止め、利用される市民の皆様のご意見を伺いながら改善し、公園を利用したいと思えるよう魅力あふれる公園を目指してまいります。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
33	<p>新鎌ヶ谷は羽田、成田を繋ぐ窓口となり、外国の方や、国内の方が利用し易い環境を作っていく事が大切だと考えます。</p>	<p>本市は、都心と成田空港の中間点に位置する広域的な交通拠点であるとともに、4つの鉄道路線が交差し、都心や成田空港まで電車で一本で行けるなど、「交通の利便性が高いまち」となっています。</p> <p>そのため市では、新鎌ヶ谷駅をはじめ鎌ヶ谷市を訪れる方が利用しやすいように、駅前に4か国語併記による観光案内板を設置するとともに日本語と英語を併記したパンフレットを配付しております。</p>	無
34	<p>また、新鎌ヶ谷駅周辺がこれから益々発展していく事が、鎌ヶ谷市の発展、住みやすさ、子育てのしやすさに繋がっていくのではないかと思います。アクロスモールとイオン、駅を歩道橋や建物等で繋ぎ、雨の日でも、行き来し易い様にする。地下街を作りお店や、市の臨時窓口を設置する。親子連れでも利用し易い施設や、レストランなどを誘致し、子育てに優しい環境を作る。</p>	<p>新鎌ヶ谷駅周辺につきましては、次期総合基本計画における施策「魅力ある都市機能の充実」において、躍動感と魅力ある広域交流拠点の創出や都心と成田空港方面を接続する交通の軸として広域軸の形成を目指すことを施策のねらいとしております。</p> <p>また、新鎌ヶ谷駅南北自由通路の整備による回遊性の向上や、東京10号線延伸新線跡地の有効活用について千葉県と協議の上、施策の柱であるにぎわいと活力ある市街地の整備を進めてまいります。</p>	無
35	<p>また、福太郎アリーナや市制公園をより多くの方に利用してもらう為、福太郎アリーナへ行きやすい車道の整備、市制公園のトイレ整備、屋内施設を作り雨の日でも利用してもらえ様な環境を作る。新鎌ヶ谷には公民館が無いので、是非作って貰いたい。</p>	<p>市制記念公園のトイレにつきましては、昨年テニスコート付近のトイレの改修工事を行い、ユニバーサルデザインを用いた個室の洋式型に変更いたしました。管理棟付近のトイレについても同様に改修してまいりたいと考えております。屋内の施設につきましては、市制記念公園においては多くの施設や緑があり、自然を活かした公園であることや施設の設置場所が無いことから難しいものと考えますが、頂いたご意見については今後の公園計画の参考とさせていただきます。今後も市民の皆様のご意見をお伺いし、利用しやすい公園の整備を進めてまいります。</p> <p>また、福太郎アリーナには、国道464号からの車のアクセスを確保しているところです。</p> <p>公民館については、中学校区ごとに設置しており、新鎌ヶ谷の地区には中央公民館が設置されております。中央公民館の最寄り駅は初富駅もしくは鎌ヶ谷駅になりますので新鎌ヶ谷地区からは少々離れておりますが、是非、中央公民館をご利用いただきますようお願いいたします。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
36	<p>無駄な公共施設を集約する。鎌ヶ谷の歴史史料館などは、市役所や、きららホールに併設した方が利用が増えると思います。</p>	<p>市は、総合基本計画の施策の柱において「公共施設の適正配置、利活用の推進」を定めており、人口動向や市民ニーズなどの状況を踏まえ、中長期的な視点から効果的かつ効率的な施設のあり方などを検討し、公共施設の適正配置や利活用の推進を掲げております。</p> <p>検討にあたっては、職員の公共施設マネジメントの意識向上を図るため、来年度以降、研修会を開催し、施設のあり方について、全庁的に検討を行ってまいります。</p>	無
37	<p>また、他の市で申し訳ありませんが、流山モデルで保育園バスが駅から出ているとテレビで拝見しました。駅で親はバスに乗せて会社へ、バスはそれぞれの保育園へ届けると言うシステムだそうです。あると便利だと思います。</p>	<p>鎌ヶ谷市は他市に比べ行政面積が狭く、また鉄道及び停車駅が8駅ある利便性を活かし、「駅チカあっとほーむ事業」として駅の近くに19名以下の園児をお預かりする小規模保育事業を10か所整備しております。今後もより利用しやすい施設を考えながら、市の特色を活かした事業を実施してまいります。</p>	無
38	<p>同じく流山には流山をアピールする部署があり、流山を売り出す努力をされている様です。鎌ヶ谷もファイターズがあったり、名産もあります。もっと沢山の方に知ってもらおうアピールが出来たらと思います。</p>	<p>本市は、市の知名度アップとその魅力を積極的に発信するため、専門的な知識や経験を持つ「魅力発信アドバイザー」を平成31年1月に設置しています。</p> <p>また、総合基本計画では、「市の認知度向上」を成果指標の一つに定めており、本指標を達成するための手段として、特に若者や子育て世代をターゲットに、市の魅力を発信する仕組み等を民間企業の知識や経験などを活用しながら、検討することを定めています。</p> <p>市では、今後も市民、事業者などが自らSNSを活用して情報発信する仕組みの構築を検討するとともに、広報紙、市ホームページのほか、情報発信手段の拡充を図ってまいります。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
39	<p>①基本理念「みんなで作るふるさと鎌ヶ谷」は、みんな/市民全員で・つくる/未来に向けて創造性と意図的協働関係性を表すスローガン/姿勢/在り方として、適切だ。</p> <p>「ふるさと」「故郷」表記は前者が望ましい。次世代の皆様にも平仮名表記は読みやすいし口にしやすいと思う。ただ、より具体的な<みんな>なら、是非とも国連の2030年までのアジェンダ<no one will be left behind>（誰ひとり取り残さない）を取り込み、<つくる>にはSDGsゴール5-6の「普遍性」も視野においていただきたい。コロナ禍もある中、21世紀の課題は「人権」だと痛感する。「みんなで作るには」次世代の力も大切。特に本市のシニア世代のボランティアワークは特記したい好事例だ。</p> <p>②目標2「子どもの生きる力をはぐくむまち」に主にコメントする。</p> <p>理由は、19歳の人口妊娠中絶の無知と反省による。当時、医師は「相手の名は誰でもいい」と小さい書面を渡し、看護婦からは「何度め？」とせせら笑われた。残念ながらカウンセリングも予後の説明も皆無だった。このことから、あらゆる「性」に起因する圧力/暴力はやめるべきだと強く願う。現在、リクルートのデータによると女性において第一子出産時における離職率は何と44.3%と聞く。目標には裏付けとなるデータ理解を必然として考える。ケーススタディ、ロールモデルも本市だけではなく、他市からも学びたい。</p> <p>③政策2 子育て/政策3 教育に対して基本的人権の尊重における管理課題事項と「性と生殖に関する健康と権利」（リプロダクティブヘルス/ライツ）を守りたい一存だ。</p> <p>教育において次世代が両性（両人）の合意に基づく婚姻関係性、出産、不妊、子育て、ワークライフバランス等を正しい自然科学的な「知」と「知・情・意」を全員参加体験型学習/ワークショップ形式も教育現場で一考願いたい。大人世代、親、地域コミュニティでも学ぶ機会が均等に欲しい。さらに行政・福祉・企業・教育・地域の分野等で同様に「知」と共に生命倫理観並びに職能としてのコミュニケーション力も研修等で身に付けていただきたい。</p> <p>また、行政評価として、広報かまがや10/15 NO.1289により 具体的な施策を見ていこうと思う。コロナ禍における地方創生臨時給付金として、あふれるえがお出産給付金（こども支援課）、小中学校ICT環境整備（指導室）、空調設備クリーニング（教育総務課）。個別育児相談会・Welcome Baby Advice、MR予防、妊娠中の無料歯科健診（健康増進課）児童発達支援（こども発達センター）、秋の里山体験隊（環境課）「かがくのとも」創刊50周年特別展示（図書館本館）など。また、男女共同参画室においては、「おとう飯レシピ募集」をしている。</p> <p>振り返れば、待機児童ゼロ、小学校の免震対策等これまでの市の尽力に感謝する。</p> <p>放課後児童クラブのシステムも、こども支援だけでない家族への支援と考えられる。</p> <p>今後とも、次世代への教育的支援を核に、「みんなで作るふるさと鎌ヶ谷」の基本理念の産声を聞くが如く、推進体制/ネットワーキングを意図していただきたい。</p> <p>「第1期子ども・子育て支援事業計画」の計画値と実績値の違いによる分析</p> <p>また、生涯において切れ目のない全世代に支援する方向性は強く要望します。</p>	<p>頂戴しましたご意見につきましては、関係する所属に情報共有を図ることで、今後の市の取組みの参考とさせていただきます。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
40	<p>私が、この鎌ヶ谷市に住んでから既に20数年になる。昨年、東京池袋で発生した高齢者による車の暴走により、多数の死傷者を生んだ大事故を契機として、更には自身の高齢化による交通安全上から、未だ運転は出来るのであるが、妻の同意もあって思い切ってやめることとしたのである。妻は、歩行困難で術後身体障害者として、更には当市の要介護者の認定を受けている身であるが、制約はあるもののバスの利用は、無理をしなければ現在のところ、どうにか可能である。これまで、病・医院への送迎は、車で私が行ってきたのであるが、一抹の不安はあるものの、当市ではバスが運行され、タクシーもあることから、更には、身体を動かさないことによる身体の衰えを避ける運動になると前向きにとらえての決断であった。しかしながら、この決断は浅慮であったと思い知らされる現実に直面しているのである。その事実については後に述べることにしたい。</p> <p>第1 鎌ヶ谷市コミュニティバスの実態 — 問題のあるその運行 —</p> <p>早朝の時間帯にコミュニティバス(以下「コミバス」という。)を利用し、また必要とする人は、先ず通勤者と通院者であろう。このうち当市におけるこのバスの運行に関し、通院者特に予約診療者への配慮が全く欠落していることを指摘したい。即ち</p> <p>1 鎌ヶ谷総合病院(以下単に「病院」という。)の予約診療</p> <p>この病院での受付開始時刻は午前8時、受診者は圧倒的に予約診療者が多い。予約診療開始時間の基本は9時である。それまで間、受診者は、受付手続きは勿論のこと、通常、諸検査(採尿、採血、レントゲン撮影等)を済ませることが必要となる。その後は予約であっても、余裕をもった待機時間を経ての診察、診療となる。妻の主治医による診療は、予約受診者に限られ、かつ永年午前9時に固定されている。ところが</p> <p>2 始発便、病院到着時刻の問題点</p> <p>コミバスの当病院到着(予定)は、各路線(東西南)の第1便(始発)で全て9時を過ぎているのである。</p> <p>3 西線、南線の遅れはいつものことか</p> <p>特に、私どもが利用するはずの西線は、第1便(直行便)の病院到着予定が午前9時28分と極めて遅い。なお、西線に代る南線であっても利用するには不適である。運転をやめてから、私が試乗してみた西線の病院到着は予定時刻より概ね10分、また南線は渋滞道を走行するからであろう、所要時間35分のところ約15分の遅れであった。願い出て、例えそれが予約時間9時30分になったとしても、診察が順調に進んでいる場合は間に合わず、安定的受診も出来ず利用に値しない。予約診療ではなく、諸検査のない、時間も自由な自由診療者には、各線とも特段支障がないのかも知れないが。私ども以外で、予約診療者である受診者はほかにも多数いるであろう。自分が自動車を運転でき、また、車での送迎を受けることができる人、更にタクシーを利用する人はそうしているであろう。私どもも、今頼りにするのはタクシーよりない。</p>	<p>鎌ヶ谷市コミュニティバス「ききょう号」は市内の交通不便地域における幼児連れの方及び高齢者等の交通手段を持たない方々が、市内に点在する公共施設等の利用促進が図れるよう運行しております。</p> <p>コミュニティバスの運行時間帯につきましては、今後の運行計画策定の中で改善の取り組みを進めてまいります。また、遅延等につきましてもバス事業者と情報を共有し、対応のあり方について検討してまいります。</p> <p>なお、天候に合わせた時刻表の導入は、制度上、困難な状況でございます。</p> <p>次に、コミバス運行欠陥の主原因、バス運行が福祉政策の一環を担うとのご意見及び長期・短期・経過的改善措置等に関しましては、関係部署と共有し今後の運行計画策定の参考とさせていただきます。</p> <p>鎌ヶ谷市のタクシーについてでございますが、本市を含む京葉地区のタクシーの状況は、国よりタクシー事業が供給過多である地域として改善を求められているため、早急な改善は難しい状況でございます。</p> <p>いただいたご意見につきましてはタクシー事業者と情報共有を行ってまいります。</p>	無

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
40	<p>4 10万人が住むまちでありながら いったい、10万人を超える人が住むまちで、早朝、最も通院者が多く、しかも近隣で唯一の予約診療を主体とする病院でありながら、バスの到着予定時刻が全て9時過ぎであり、始発時刻も全便が8時過ぎであるという所が他にあり得るであろうか! なお、コミバス運行の問題を考察し、主な欠陥を列記したものが〔別記〕のものである。</p> <p>5 雨の日南線で経験したこと (1) 異常な遅延 昨年の秋であったろうか。正確な日にちは憶えていないが、病院へ妻の代理として薬をもらいに行った帰り、生憎雨が降り出した。 直行して帰宅するための西線は、1時間以上待たねばならず、また、いつもは待機しているタクシーも、なかった。そこで、南線を利用することとした。到着予定時刻が30分程過ぎた頃、雨の中、同じくこのバスを待つ中年の女性に、バスの遅れの感想を聞いてみた。</p> <p>(2) 「こんなバス・・・」利用者の生の声 鎌ヶ谷大仏駅近くまで行くというその人は、私の問いに対して「雨の日はいつもこんなんです」と情概している様子で答えた後、やや暫くしてから、「こんなバス誰がやってんだろう」と呟いた。イライラする気持ちを抑えていると見えるその表情は、私とて同様の気持であった。 たった一人ではあったが、この病院に通院し、このバスを利用しなければならない利用者の、声なき本音を聞いたことが、今でも印象深く記憶に残っている。更にはまた、このバスの遅れの原因は事故ではないと確信しているような態度にも驚いたのである。遅延がいつも常態化しているからであろう。結局バスは、予定時刻から40分遅れて停留所へ着いた。</p> <p>(3) 事業受託側にも問題 鎌ヶ谷駅までの乗車時間は、時刻表では19分間であるが、これ程の遅れがあり、雨の中をひたすら待っていた新たな乗客がいるのにもかかわらず、このバスでは遅れの理由も、更には、それが形式的なものであっても通常は云うであろうお詫びのアナウンスもなかった。</p>		

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
40	<p>(4)「雨天時の時刻表」 乗車中、他にないであろうこれほどいつも遅れるのなら「雨天時における時刻表」が必要ではないかなどと夢想しているうちに、遅延の理由を問い質す気力も失せてしまった。いま同乗している女性の云ったこんなバスの呟きを思い出し、ふと、浮んだのは「仏作って魂入れず」の諺だった。</p> <p>思い当たる事象のあれこれが脳裏に浮び、こんなことが実際に起こっていることを、行政に携わる関係者は知らないでいるはずはないと疑問に思ったのである。</p> <p>刻々と変化する道路及び交通環境の中にあっても、コミバスが走り出してから、時刻表の改正が一度でも行われたのだろうか、時刻表には「市民の大切な足であるバス・・・」とある。</p> <p>(別記) コミバス運行欠陥の主要原因</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 市役所を中心とした運行基本構想の破綻 1 長距離、長時間折返し走行便の弊害 1 短距離、短時間折り返し走行便の有用性への無関心、未検討 1 実態・意向調査の未実施 1 病院通院者への視点欠落、特に予約診療 1 改善意識・意欲の欠除 1 重要施策コミバスへの全庁的認識薄弱 1 健常者、車運転者への依存意識 <p>第2 鎌ヶ谷市のタクシー -雨か日は迎車に応じない-</p> <p>これまで述べてきたように、早朝における通院のためのコミバスは用をなさないの、最後の交通事段として、タクシーが頼みである。バス代の10倍を超える金額の負担もさることながら、当市を営業拠点とするタクシー会社は全社とも、雨天等天候不順な日は、それが病院通院のためであっても、身体障害者であっても、理由の如何を問わず、自宅までの迎車に応じない(拒否)のである。</p> <p>介護タクシーを名乗っているタクシー会社でさえ例外ではない。</p> <p>これまで、実際に雨の日に遭遇し、数回自宅への迎車を断わられているのである。</p> <p>なお、来月11月1日から、協進交通では、指定料金制(時間指定予約及び乗務員指定)を実施するという。(別紙キラシ参照)</p> <p>現行料金(迎車の場合)は、運賃+迎重料金(300円)であるが、現行は無料であった指定が、一律500円を徴収するという、実質上の値上げである。</p> <p>当市におけるタクシーも、ますます使い勝手が悪くなり、交通体制の貧弱さが露呈しているのである。</p>		

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
40	<p>第3 バスの運行は福祉政策の一環を担う ー交通弱者にも役立つものとしてー</p> <p>1 免許返上者へのフォロー 交通安全上、高齢者の自動車運転免許証の返上問題が世上云われ出している昨今、運転をやめた後に、支障なく他の交通機関に代替できるフォロー体制が不完全であれば、返上者は直ちに困窮する。既に免許の返上を決断した人そして今後それを考える人たちが不完全であるその事実を知れば、決断をためらうのは当然である。今自動車を運転している人たちも、将来必ずその判断を迫られることとなる。どこのまちに住んでいるかによってその難易は違ってくるが。</p> <p>2 バスの運行は福祉政策の一環を担う 健常者の交通手段と利便を図ることが主たる目的であるバスの運行であっても、一面では福祉政策の一環をも担っていることを理解しなければならない。福祉政策は、少数の弱者を切り捨てるのではなく救済することに神髄があり、それを使命とするのであるから、ハスの運行に当たっても、少数の交通弱者に対して役に立つものでなくてはならないものとしてである。 免許返上者への代替交通機関として、バス運行の役割は最も必要で重要であることは論ずるまでもないが、免許返上者に限らず、他の交通弱者に対しても必要不可欠なものである。まずは健康で、自動車の運転が出来たため、自らが交通弱者の立場になることの自覚がそれ程なかったことを省み、いま介助の役目を果せていない浅慮の不甲斐なさをしみじみと実感しているのである。鎌ヶ谷市におけるバスの運行が、それが当りまえに正常化し、住みよいまちと実感ですることを願う。老いてもう先のない私どもであっても。</p> <p>終りに当たって 超高齢化の進展、平均寿命の伸長、医療技術の向上等に伴い、一方では、老齢病弱者の増加が当然視される今日、それがもたらす諸課題の対策と実施の必要性は申すまでもないであろう。しかし鎌ヶ谷市の現状は、交通政策のうち今回取り上げたコミュニティバス問題。交通弱者の助けとして極めて必要度の高い施策でありながら、これまで述べてきたように、はなはだ心もとないと云わざるを得ないのである。 今は少数者でも、今後とも増え続けるであろう弱者への視点と認識そして対処の不十分さを、我身に振りかかった交通弱者の観点から指摘したうえ、意見要望と提言を行なった次第である。 なお、急激に都市化して今日に至った当市の成り立ちからして、このまち特有の問題、就中、いま市中各所で交通渋滞を引き起こしている道路問題。 都市政策としての基盤整備が追いつけていないのである。それがコミュニティバスの運行に多大な悪影響を及ぼしている事実。 しかし、それは今回の本題ではない。ただ一つ指摘しておきたい。ならば、その改善策を講じなければならない筈が今日まで放置されてきたことを。 以上、コミュニティバスの早急なる改善策の策定のため、是非とも「鎌ヶ市総合基本計画」に反映されることを願うのである。</p>	21	

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
40	<p>長期改善計画(案)</p> <p>1 抜本の見直しによる再編成計画の策定及び実施</p> <p>(1)路線及び停留所の変更、廃止集約</p> <p>(2)渋滞路線道路の改良</p> <p>ア 市道</p> <p>イ 県道国道</p> <p>2 実態調査の実施</p> <p>(1)他市における実態の把握</p> <p>(2)試業による調査の実施</p> <p>特に、始発便、雨中時便、渋滞路線便</p> <p>(3)利用者意向調査の実施 アンケート</p> <p>(4)事業受託者からの事情聴取</p> <p>(5)利用者の声を聞く会の定期的開催</p> <p>3 直接的利用促進策</p> <p>(1)利用実態の市民への公表</p> <p>(2)利用促進のための要請呼び掛け</p> <p>4 事業受託者との連携強化</p> <p>5 利用料金の値上げ</p> <p>6 改善計画推進のための措置</p> <p>(1)市組織の改正</p> <p>(2)増員</p> <p>(3)専門家の登用と活用</p> <p>(4)他市への視察・施策に学ぶ</p> <p>7 本計画、対策及び措置のための予算確保</p> <p>コミュニティバス問題は、福祉の向上並びに交通安全対策の一環としても、鎌ヶ谷市における重要な施策であると位置付け、その実現に向けて推進を図る。改善への取組みは、必要不可欠である。</p>		

総合基本計画に係るパブリックコメントの意見及び市の考え方一覧

NO	意見内容	市の考え方	修正 有無
40	<p>短期改善対策（案） 始発便の創設</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現行、第1便の始発時刻をそれぞれ最低1時間繰り上げた時間帯で運行するバス 2 増発するのが最適であるが、現行の最終便の時刻を繰り上げて支障がないかどうかは各路線の実態に応じて判断する 3 新設便は、利用されていない停留所はあらかじめ通過することを前提として運行する。 ただし、この新設便をもうけることにより、新たな利用者を掘り起こす可能性もあり、周辺の利用動向調査の結果をも踏まえて判断する。 <p>【その主眼】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各路線の始発時刻を早めることによって、特に鎌ヶ谷総合病院通院者の利便に資する ・経年とともに変化する利用動向を考慮せず、市役所へ行く利用者を念頭に設置したと見受けられる現行便の改善。始発便は遅く、繰上げ便を新設しても市役所へ行くのに特段支障はないと考えられる。 <p>経過的改善措置(案)</p> <p>前記、計画(案)及び対策(案)の策定実施には相当な時間を要するため、その経過的措置を構ずる。</p> <p>—短距離、短時間の運行を基本—</p> <p>第1 鎌ヶ谷大仏駅始発鎌ヶ谷駅折り返し更の新設 (そのねらい)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①南線の慢性的遅延の防止 ②鎌ヶ谷駅乗換え利用者の利便と利用増 ③始発時刻は利用が見込まれる午前7時から8時台の間で検討 ④新設便の回数は、利用予想に基づく。 <p>第2 鎌ヶ谷駅始発新鎌ヶ谷駅折り返し便の新設 (そのねらい)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①鎌ヶ谷総合病院通院者への利便と利用増 ②上記「第1」利用者の病院通院者の乗換え ③始発時刻は、第1便が鎌ヶ谷駅に到着後第2の便に接続し、かつ病院到着時刻が延着をも見込んで8時頃の最適な時刻を検討④県道8号線の渋滞による影響を回避し軽減する。 		